



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 加藤 勲

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	221,658	—	21,269	—	19,899	—	14,527	—
26年12月期第2四半期	265,097	—	33,073	—	35,064	—	24,534	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 14,695百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 34,430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	76.53	72.30
26年12月期第2四半期	129.25	122.19

(注) 平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、前第2四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	367,235	—	212,704	—	—	57.5
26年12月期	355,837	—	201,940	—	—	56.5

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 211,175百万円 26年12月期 201,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	23.50	23.50
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	23.50	23.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	423,000	—	33,000	—	32,000	—	21,000	—	110.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)、決算日が12月31日の連結子会社は12ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年12月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期増減率につきましては記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	199,962,991 株	26年12月期	199,962,991 株
27年12月期2Q	10,142,338 株	26年12月期	10,140,795 株
27年12月期2Q	189,821,506 株	26年12月期2Q	189,824,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成27年8月6日(木)に当社ホームページ(<http://www.asics.com/jp/>)に掲載いたします。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成27年8月11日(火)に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等)	11
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
4. 補足情報	13
(1) 連結分類別売上高明細表	13
(2) 地域別売上高	13
(3) 在外子会社為替換算レート	14
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるスポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。

ランニングは、コア事業として更なる拡大およびブランド価値の向上を目指しました。高機能ランニングシューズ「GEL-NIMBUS 17」を市場投入しました。さらに、当社がタイトルスポンサーを務めた「アシックスLAマラソン」をはじめ、パリ、ストックホルム、東京など世界各地のマラソン大会への協賛などを行いました。この他、トレーニングプログラムを提供するオンラインサービス「MY ASICS」を、ソニー株式会社のヘッドホン一体型スポーツデバイス「Smart B-Trainer」と連携させることで、リアルタイムでランニングのコーチングを受けられるようにサービスを向上しました。

アスレチックスポーツでは、ブランド価値の向上および売上拡大に努めました。テニスでは、高機能テニスシューズ「GEL-RESOLUTION 6」をはじめ、テニスシューズの売上拡大に努めました。また、グローバルでテニスに関するマーケティング活動を強化した結果、当社テニスシューズが、男子テニス世界ランキングのトップ100選手の使用シューズにおいて、25%の使用率となり、トップシェアとなりました(平成27年5月26日付スポーツバズビジネス社調べ)。

スポーツライフスタイルは、ブランド価値向上およびブランドコンセプトに基づく戦略の実行によって売上拡大に努めました。アシックス、オニツカタイガーに続く第三のブランドとして復活させた「アシックスタイガー」ブランドでは、新シリーズ「GEL-LYTE EVO」を発売しました。また、オニツカタイガーブランドでは、東京で独自のランウェイショーを開催し、有名デザイナーとのコラボレーションシューズ、アパレルなどを発売しました。

販売面では、自主管理売場の拡大を通じた売上拡大に努めました。マドリッドにアシックスブランドの旗艦店をオープンしたのをはじめ、リスボン、北京、シンガポールにアシックスブランドの直営店を、また渋谷にオニツカタイガーブランドおよびアシックスタイガーブランドの直営店をオープンするなど、世界各地への出店を進めました。これにより、当社の自主管理売場の店舗数は、直営店400店舗、その他パートナーストアを含めると全世界で1,400店舗を超えました。さらに、世界共通のITプラットフォームに基づく自社独自のEコマースサイトでの販売を、新たにオーストリアをはじめとする5カ国で開始しました。

アパレル事業では、企画開発生産から販売まで一貫した事業戦略の遂行に努めました。グローバルレベルで統一的に企画開発を行ったランニングウェアのグローバルコンセプトシリーズの発売などを行いました。

さらに、スポーツ振興を通じた健康で持続可能な社会の実現に向けた活動に努めました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関してスポーツ用品(スポーツアパレル及び競技用具)カテゴリーにおける国内最高位のスポンサーである「東京2020ゴールドパートナー」となりました。

また、当社は、その企業活動が評価され、インターブランド社の「Japan's Best Global Brands 2015」において、過去最高のブランド評価額にて19位に選ばれました。さらに当社は、従業員などの健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践している企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」にも選ばれました。

加えて、多様な人材が最大限能力を発揮できる企業文化・環境の中でイキイキと働き、持続的な会社の成長に貢献することを目的として、「“One Team” 違いを活かす、高め合う。」をスローガンにダイバーシティを引き続き推進しました。

その他、東日本大震災の継続的な復興支援活動「A Bright Tomorrow Through Sport (ブライ トゥモロー スルー スポーツ) あしたへ スポーツとともに」の一環として、「東北風土マラソン&フェスティバル 2015」への協賛、トップアスリートを招聘する「陸上教室」などを開催しました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は221,658百万円となりました。このうち国内売上高は56,603百万円、海外売上高は165,055百万円となりました。売上総利益は96,914百万円、営業利益は21,269百万円、経常利益は19,899百万円、四半期純利益は14,527百万円となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第2四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日であった連結子会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、前年同期間比につきましては記載しておりません。

- ① 日本地域  
日本地域におきましては、売上高は68,128百万円となり、セグメント利益につきましては3,085百万円となりました。
- ② 米州地域  
米州地域におきましては、売上高は71,665百万円となり、セグメント利益につきましては4,610百万円となりました。
- ③ 欧州地域  
欧州地域におきましては、売上高は56,760百万円となり、セグメント利益につきましては5,313百万円となりました。
- ④ オセアニア/東南・南アジア地域  
オセアニア/東南・南アジア地域におきましては、売上高は11,129百万円となり、セグメント利益につきましては1,914百万円となりました。
- ⑤ 東アジア地域  
東アジア地域におきましては、売上高は20,639百万円となり、セグメント利益につきましては2,770百万円となりました。
- ⑥ その他事業  
その他事業におきましては、売上高は5,089百万円となり、セグメント損失につきましては492百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産367,235百万円(前連結会計年度末比3.2%増)、負債の部合計154,531百万円(前連結会計年度末比0.4%増)、純資産の部合計212,704百万円(前連結会計年度末比5.3%増)でした。

流動資産は、売上債権、有価証券およびたな卸資産の増加などにより、279,935百万円(前連結会計年度末比5.6%増)となりました。

固定資産は、アシックスアメリカコーポレーションの配送センターの拡張による有形固定資産の増加があったものの、つくば配送センターにかかる不動産信託受益権譲渡による有形固定資産の減少などにより、87,300百万円(前連結会計年度末比3.9%減)となりました。

流動負債は、主として償還期限が1年以内となった社債の固定負債から流動負債への振り替えによるその他の負債の増加などにより、87,729百万円(前連結会計年度末比13.4%増)となりました。

固定負債は、上述の振り替えによる社債の減少などにより、66,801百万円(前連結会計年度末比12.7%減)となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、178,525百万円(前連結会計年度末比6.0%増)となりました。

その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の減少があったものの、繰延ヘッジ損益などが増加したことにより、32,650百万円(前連結会計年度末比0.3%増)となりました。

また、キャッシュ・フローにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、45,108百万円と前連結会計年度末に比べ5,943百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第2四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、前年同期間比につきましては記載しておりません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,450百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益19,919百万円、減価償却費3,826百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額11,891百万円、法人税等の支払額6,679百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,968百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入4,800百万円、有形固定資産の売却による収入4,641百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出7,434百万円、有形固定資産の取得による支出4,685百万円、有価証券の純増加額2,019百万円、無形固定資産の取得による支出1,211百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,888百万円となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額4,451百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項がないため記載しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,887	53,210
受取手形及び売掛金	80,991	91,910
有価証券	2,821	4,857
商品及び製品	99,180	101,042
仕掛品	345	334
原材料及び貯蔵品	886	893
繰延税金資産	5,519	6,445
その他	24,235	25,261
貸倒引当金	△3,898	△4,020
流動資産合計	264,969	279,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,045	33,748
減価償却累計額	△19,372	△18,983
建物及び構築物 (純額)	16,672	14,764
機械装置及び運搬具	5,048	5,220
減価償却累計額	△3,946	△4,016
機械装置及び運搬具 (純額)	1,101	1,204
工具、器具及び備品	21,680	22,424
減価償却累計額	△12,985	△13,970
工具、器具及び備品 (純額)	8,694	8,454
土地	9,466	7,578
リース資産	7,240	8,871
減価償却累計額	△2,801	△2,529
リース資産 (純額)	4,438	6,341
建設仮勘定	1,734	1,373
有形固定資産合計	42,109	39,717
無形固定資産		
のれん	5,165	4,677
その他	14,424	14,250
無形固定資産合計	19,590	18,927
投資その他の資産		
投資有価証券	10,534	12,097
長期貸付金	411	372
退職給付に係る資産	522	498
繰延税金資産	995	589
その他	17,073	15,513
貸倒引当金	△369	△417
投資その他の資産合計	29,168	28,654
固定資産合計	90,868	87,300
資産合計	355,837	367,235

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,263	27,339
短期借入金	15,414	15,082
リース債務	617	629
未払費用	15,842	16,624
未払法人税等	1,915	2,065
未払消費税等	2,013	2,640
繰延税金負債	2,176	2,773
返品調整引当金	594	703
賞与引当金	843	391
資産除去債務	7	16
その他	10,660	19,460
流動負債合計	77,348	87,729
固定負債		
社債	16,000	5,000
新株予約権付社債	30,125	30,110
長期借入金	8,590	8,506
リース債務	4,256	6,137
繰延税金負債	6,074	5,982
退職給付に係る負債	8,241	6,146
資産除去債務	852	959
その他	2,408	3,959
固定負債合計	76,547	66,801
負債合計	153,896	154,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,490	17,490
利益剰余金	134,640	144,725
自己株式	△7,658	△7,663
株主資本合計	168,444	178,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,168	4,474
繰延ヘッジ損益	14,645	16,907
在外子会社資産再評価差額金	129	110
為替換算調整勘定	14,547	11,005
退職給付に係る調整累計額	73	152
その他の包括利益累計額合計	32,564	32,650
新株予約権	35	58
少数株主持分	896	1,471
純資産合計	201,940	212,704
負債純資産合計	355,837	367,235



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	265,097	221,658
売上原価	145,859	124,658
返品調整引当金戻入額	628	321
返品調整引当金繰入額	449	407
売上総利益	119,417	96,914
販売費及び一般管理費	86,344	75,645
営業利益	33,073	21,269
営業外収益		
受取利息	297	252
受取配当金	120	129
為替差益	1,848	—
その他	335	270
営業外収益合計	2,601	652
営業外費用		
支払利息	485	460
為替差損	—	821
その他	124	739
営業外費用合計	609	2,021
経常利益	35,064	19,899
特別利益		
固定資産売却益	22	33
投資有価証券売却益	171	15
特別利益合計	194	48
特別損失		
固定資産売却損	19	10
固定資産除却損	19	18
特別損失合計	38	29
税金等調整前四半期純利益	35,221	19,919
法人税等	10,540	5,348
少数株主損益調整前四半期純利益	24,681	14,570
少数株主利益	147	43
四半期純利益	24,534	14,527

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,681	14,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	549	1,306
繰延ヘッジ損益	9,962	2,261
在外子会社資産再評価差額金	△55	△18
為替換算調整勘定	△795	△3,503
退職給付に係る調整額	88	79
その他の包括利益合計	9,749	124
四半期包括利益	34,430	14,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,250	14,638
少数株主に係る四半期包括利益	180	56

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	35,221	19,919
減価償却費	4,443	3,826
のれん償却額	820	330
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	238
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	500	△1,966
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△454
投資有価証券売却損益 (△は益)	△171	△15
受取利息及び受取配当金	△417	△381
支払利息	485	460
為替差損益 (△は益)	△8	12
有形固定資産除売却損益 (△は益)	15	△4
その他の損益 (△は益)	△302	228
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,980	△11,891
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,803	△3,259
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,852	2,294
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,243	539
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,668	726
その他の負債の増減額 (△は減少)	△3,131	1,598
小計	20,194	12,200
利息及び配当金の受取額	406	394
利息の支払額	△485	△464
法人税等の支払額	△9,131	△6,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,984	5,450
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,196	△7,434
定期預金の払戻による収入	4,839	4,800
有形固定資産の取得による支出	△5,375	△4,685
有形固定資産の除却による支出	△53	△16
有形固定資産の売却による収入	88	4,641
無形固定資産の取得による支出	△945	△1,211
有価証券の純増減額 (△は増加)	△430	△2,019
投資有価証券の取得による支出	△1,015	△14
投資有価証券の売却及び償還による収入	425	239
子会社株式の取得による支出	△684	△2
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△11	28
長期貸付けによる支出	△1	△2
長期貸付金の回収による収入	28	23
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△93	△314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,423	△5,968

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,091	△376
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△198	△123
自己株式の取得による支出	△4	△4
自己株式の売却による収入	—	0
少数株主からの払込みによる収入	—	492
リース債務の返済による支出	△425	△377
配当金の支払額	△3,223	△4,451
少数株主への配当金の支払額	△6	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,849	△4,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	△633	△536
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△922	△5,943
現金及び現金同等物の期首残高	53,633	51,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,711	45,108

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社、アシックス販売株式会社、その他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、アシックスオセアニアPTY. LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア/東南・南アジア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

なお、平成27年1月1日付でアシックスインディアPRIVATE LIMITEDはマーケティング会社から販売会社へ事業形態を変更いたしました。これに伴い、従来調整額に含まれていたアシックスインディアPRIVATE LIMITEDの業績を「オセアニア/東南・南アジア地域」に移行させております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記事業形態変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジ ア地域	東アジア 地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	46,997	89,682	82,539	13,444	23,126	9,112	264,902	195	265,097
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,805	1	5	66	—	4	8,884	(8,884)	—
計	55,803	89,683	82,544	13,510	23,126	9,116	273,786	(8,688)	265,097
セグメント利益 又は損失	1,250	10,877	8,880	2,491	2,198	(252)	25,445	7,627	33,073

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジ ア地域	東アジア 地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	56,331	71,665	56,756	11,118	20,587	5,085	221,543	114	221,658
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,797	0	4	11	52	3	11,869	(11,869)	—
計	68,128	71,665	56,760	11,129	20,639	5,089	233,413	(11,754)	221,658
セグメント利益 又は損失	3,085	4,610	5,313	1,914	2,770	(492)	17,201	4,067	21,269

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

重要な事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

重要な事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	29,026	11.0	35,881	16.2	—	—
	海外	185,118	69.8	143,114	64.6	—	—
	計	214,145	80.8	178,996	80.8	—	—
スポーツウェア類	国内	12,017	4.5	13,603	6.1	—	—
	海外	26,538	10.0	17,623	8.0	—	—
	計	38,556	14.5	31,227	14.1	—	—
スポーツ用具類	国内	6,310	2.4	7,118	3.2	—	—
	海外	6,086	2.3	4,316	1.9	—	—
	計	12,396	4.7	11,434	5.1	—	—
合計	国内	47,353	17.9	56,603	25.5	—	—
	海外	217,743	82.1	165,055	74.5	—	—
	計	265,097	100	221,658	100	—	—

- (注) 1. スポーツシューズ類 : ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等  
 スポーツウェア類 : トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア等  
 スポーツ用具類 : ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第2四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、前年同期間比につきましては記載しておりません。

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位: 百万円)

日本	米州	欧州	その他	計
47,353	89,788	88,001	39,953	265,097

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

(単位: 百万円)

日本	米州	欧州	その他	計
56,603	71,759	58,105	35,191	221,658

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
平成26年12月期第2四半期 (円)	103.47	139.73	94.41	0.0993	15.44
平成27年12月期第2四半期 (円)	120.50	135.65	94.23	0.1096	14.53
増減 (円)	+17.03	△4.08	△0.18	+0.0103	△0.91
増減比 (%)	+16.5	△2.9	△0.2	+10.4	△5.9

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジア 地域	東アジア 地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	—	—	—	—	—
	(邦貨)	—	—	—	—	—	—
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	—	—	—	—	—
	(邦貨)	—	—	—	—	—	—
セグメント利益率 (%)		4.5	6.4	9.4	17.2	13.4	△9.7

(注) 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第2四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、セグメントの売上高増減比およびセグメント利益増減比につきましては記載しておりません。